

# 1 年生授業シラバス

教育課程表 . . . . . 1

(令和5年度入学生)

共通教科に関する科目 . . . . . 2

専門科目に関する科目 . . . . . 11

(商業)

ビジネス科1年(令和5年度入学生)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
現代の 国語	言語文化	地理総合	数学Ⅰ		科学と 人間生活	体育	保健	英語コミュニケー ションⅠ	家庭基礎	ビジネス 基礎	簿記			情報処理			HR												

現代の国語

教科	国語	単位数	2	学科・学年	ビジネス科・1年
使用教科書	新編現代の国語（数研出版）				
副教材等	常用漢字の1・2トライ（浜島書店）				

◇ 科目の目標 ◇

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。  
 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。  
 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書き手の意図をつかむ</li> <li>・文章の展開を把握する</li> <li>・対比を読み取る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本文中の表現について、筆者の意図やその効果を考える。</li> <li>・論の展開を整理して、本文の要点をつかむ。</li> <li>・二つの文化の比較を通じて、筆者の思考をたどる。</li> </ul>
後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書き手の考えを比較する</li> <li>・根拠を読み取る</li> <li>・社会の中の文章</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の主張を読み取る。</li> <li>・本文の結論を踏まえて、「差」が持つ意味を考察する。</li> <li>・説得力のある企画書を書く方法を知る</li> </ul>

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

(2) ノートの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

(3) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

(4) 定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

国語は、皆さんが小学校からずっと学んできたなじみの深い教科だと思います。高等学校でも続けて学んでいきます。さまざまな文章を読み味わい、理解を深めましょう。また、自分の意見を発表したり、他人の意見を聞き取ったりする力を身に付けましょう。

言語文化

教科	国語	単位数	2	学科・学年	ビジネス科・1年
使用教科書	新編言語文化（数研出版）				
副教材等	常用漢字の1・2トライ（浜島書店）				

◇ 科目の目標 ◇

- (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の言葉</li> <li>・古文の世界を楽しむ</li> <li>・日本語の中に生きる漢文</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解する。</li> <li>・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を捉える。</li> <li>・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する</li> </ul>
後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受け継がれる古典</li> <li>・詩歌を味わう</li> <li>・故事と成語</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。</li> <li>・日本の詩歌の豊かさを理解し、詩歌を楽しむ。</li> <li>・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深める</li> </ul>

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

- 下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。
- (1) 授業への取り組み  
授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。
- (2) ノートの記載内容  
授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。
- (3) 教科書・問題集の問題  
各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。
- (4) 定期考査  
学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

国語は、皆さんが小学校からずっと学んできたなじみの深い教科だと思います。高等学校でも続けて学んでいきます。生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けましょう。また、さまざまな文章を読み味わい、言語文化に対する理解を深めましょう。

地理総合

教科	地歴公民	単位数	2	学科・学年	ビジネス科・1年
使用教科書	帝国書院 『新地理総合』		・	帝国書院 『標準高等地図』	
副教材等	なし				

◇ 科目の目標 ◇

持続可能な社会づくりを目指し、地理的環境と人間の営みとの関わりに着目して、現代の地理的な諸課題を考察する力を養う。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前 期	第1部 地図でとらえる世界 第1章 地図と地理情報システム 第2章 結びつきを深める世界	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図の役割や有用性、活用法を理解し、グローバル化の進展に伴ってヒト・モノ・カネの動きがどのように変化し、それが身近な地域にどんな影響を与えているかについて考えを深める。</li> <li>・国際社会における国家の役割を理解し、国家間・地域間の相互関係について考える。</li> <li>・地形や気候などの自然と人間との関わりに着目して、世界各地の生活文化の特徴を理解し、その多様性の背景や変化の理由を考える。</li> </ul>
	第2部 国際理解と国際協力 第1章 生活文化の多様性と国際理解	
後 期	第2章 地球的課題と国際協力 地球環境問題 資源・エネルギー問題・人口問題 食糧問題・都市・居住問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGs、環境問題や資源・エネルギー問題についての基礎知識を獲得し、今後の取組について考え、議論する。</li> <li>・人口・食料・都市居住問題についての基礎知識を獲得し、今後の取組について考え、議論する。</li> <li>・地震や津波、火山の噴火、豪雨や熱帯低気圧などそれぞれの自然災害の特徴や対策方法について正しく理解し、災害に強い地域作りについて考える。</li> <li>・他地域との結びつき、地域の成り立ちや変化などに着目して、自らの生活圏が抱える課題を探究し、持続可能な社会のあり方や自身の社会参画のあり方について考え、議論する。</li> </ul>
	第3部 持続可能な地域づくりと私たち 第1章 自然環境と防災 第2章 生活圏の調査と地域の展望	

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢や学習態度、挙手の頻度、授業・議論への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に【主体的に学習に取り組む態度】の項目で評価する。

(2) プリントの記載内容

プリントに授業内容を適切にまとめているか、プリントをしっかりとファイリングしているかなどを評価する。

(3) 提出物

課題提出物の取り組み、内容から評価する。

(4) 定期考査

授業内容に即した問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

授業中、「へえそういうことかあ」「あ、それ、どっかで聞いたことがあったけど、そのことだったんだあ」などと、これまでに見聞きしてきたことがどんどんつながって行って、いろいろな事象を多面的・有機的に捉えられるようになっていけます。そのためには、普段から、新聞やニュース、テレビのドキュメンタリー番組や教養番組に多く接し、見聞きしたことについて友人や家族といっぱい話して、世の中に対するアンテナを広げましょう。もう数年で、みなさんも主権者です。立派な主権者となる準備をしましょう。それはきっと楽しいことですよ。

## 数学 I

教科	数学	単位数	3	学科・学年	ビジネス科・1年
使用教科書	高校数学 I 新訂版				
副教材等	高校サブノート 数学 I 新課程版				

### ◇ 科目の目標 ◇

数と式、2次関数、図形と計量及びデータの分析について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにします。

### ◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	第1章 数と式 第2章 2次関数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「数と式」では、平方根や文字を含む計算、1次不等式を扱い、高校数学の基礎を学びます。</li> <li>・「2次関数」では、グラフにより関数の変化の様子をつかみ、さらに2次不等式の解法を理解します。</li> </ul>
後期	第3章 図形と計量 第4章 集合と命題 第5章 データの分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「図形と計量」では、図形における線分の長さ、角の大きさ、面積の計算に三角比を利用して求めます。</li> <li>・「集合と論証」では、集合の表し方や基本的な性質を扱い、これらをもとに証明方法を考えます。</li> <li>・「データの分析」では、統計の基本的な考え方を学び、データを整理分析して、傾向を把握します。</li> </ul>

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

### ◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

#### (1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

#### (2) ノートの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

#### (3) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

#### (4) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

### ◇ 担当者からのメッセージ ◇

数学を楽しく学ぶためには「授業を大切にすること」「教科書・問題集を利用すること」「記憶することより解することに重点を置くこと」です。中学校での学習内容も必要に応じて学習し直します。真面目にコツコツ取り組んでいきましょう。

科学と人間生活

教科	理科	単位数	2	学科・学年	ビジネス科・1年
使用教科書	科学と人間生活（啓林館）				
副教材等	科学と人間生活の学習のノート（啓林館）				

◇ 科目の目標 ◇

- ・自然と人間生活とのかかわり及び科学技術と人間生活とのかかわりについての理解を深め、観察、実験などに関する技能を身に付け、人間生活と関連づけて科学的に探究する力を養う。
- ・自然の事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	第1部 生命の科学 第1章 ヒトの生命現象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遺伝子のはたらき、視覚、血糖濃度の調節、免疫についての基本的なしくみを理解します。 【前期中間考査】</li> <li>・身近な衣料材料の性質や用途、食品中のおもな成分の性質について理解します。 【前期期末考査】</li> </ul>
	第2部 物質の科学 第2章 衣料と食品	
後期	第3部 光や熱の科学 第1章 光の性質とその利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・光を中心とした電磁波の性質とその利用について理解します。 【後期中間考査】</li> <li>・身近な自然景観の成り立ちと自然災害について、地域の地質や地形、気候などの特性や地球内部のエネルギーによる変動と関連づけて理解します。 【学年末考査】</li> </ul>
	第4部 宇宙や地球の科学 第2章 自然景観と自然災害	

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

(2) ノートの記載内容

宿題・課題等の記述、配布プリントの添付、授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

(3) 観察・実験等

観察・実験等を行い、レポートを書く。観察・実験に対する姿勢、予想や考察、器具の操作、報告書などから評価する。評価の観点のうち、知識・技能、思考・判断・表現に関する配分が大きい。

(4) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

(5) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、知識・技能、思考・判断・表現に関する配分が大きい。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

- 1 日常生活の中で起こるさまざまな自然現象に興味をもち、そのしくみについて人間生活と関連づけて考える態度をもつこと。
  - 2 疑問に思ったことを確かめてみようという態度をもつこと。
  - 3 学んだことを正確に記録する方法と態度を身につけ、活用できること。
- 科学と人間生活では、考える習慣を大事にします。世の中には、まだ原因が解っていない現象や、解決しなければならない問題が数多くあります。答えが解らないわけですから、知識では太刀打ちできません。学んだ法則や概念を基に論理的に思考し、自分なりの解を求めることが求められています。

体育

教科	体育	単位数	2	学科・学年	ビジネス科・1年
使用教科書	現代高等保健体育（大修館）				
副教材等	現代高等保健体育ノート（大修館）				

◇ 科目の目標 ◇

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成する。

- ・運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- ・運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	体づくり運動・集団行動・体育理論 ダンス、ソフトテニス（男子） サッカー、バドミントン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯にわたり運動に親しむことができるようにします。</li> <li>【知識・技能】</li> <li>・運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにします。</li> <li>【思考・判断・表現】</li> </ul>
後期	バドミントン、陸上、サッカー（男子） ダンス、陸上、ソフトボール、体育理論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公正、協力、責任や健康、安全に留意する態度を身に付けます。</li> <li>【主体的に学習に取り組む態度】</li> </ul>

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別（【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】）に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

(2) ノートの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

(3) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

(4) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

体育という授業は将来の皆さんの健康に大きく役に立つ教科です。

身体を動かすことが好きな子、苦手な子いると思いますが、積極的に活動に参加してくれることを期待しています。

保健

教科	保健	単位数	1	学科・学年	ビジネス科・1年
使用教科書	現代高等保健体育（大修館）				
副教材等	現代高等保健体育ノート（大修館）				

◇ 科目の目標 ◇

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。

- ・個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。
- ・健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。
- ・生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	現代社会と健康	健康の考え方と成り立ち 私たちの健康のすがた 生活習慣病の予防と回復 がんの原因と予防 がんの治療と回復 運動と健康 食事と健康 休養・睡眠と健康 精神疾患の特徴 精神疾患の予防 精神疾患からの回復
後期	現代社会と健康 安全な社会生活	現代の感染症 感染症の予防 性感染症・エイズとその予防 健康に関する意思決定・行動選択 健康に関する環境づくり 事故の現状と発生要因 安全な社会の形成 交通における安全 応急手当の意義とその基本 日常的な応急手当 心肺蘇生法

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

(2) ノートの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

(3) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

(4) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

保健の授業は日々の生活に大きくかかわっている内容です。  
皆さんの知識が増えるのはもちろん、他の教科とつながりがある教科なので積極的に参加してください。



## 英語コミュニケーションⅠ

教科	外国語	単位数	3	学科・学年	ビジネス科・1年
使用教科書	All Aboard! English Communication I (東京書籍)				
副教材等	・All Aboard! English Communication I ブリッジワークブック (東京書籍) ・New エキスパート英語検定練習問題集3級 2ndEdition				

### ◇ 科目の目標 ◇

日常的・社会的な話題について、準備・練習すれば、

1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。
4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。
5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

### ◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	Pre-Lesson 1 My Name Is Ito Neko ～ Lesson 5 Learning from the Sea	英語で自己紹介をできるようになろう ～ 英語で将来の夢について話そう
後期	Lesson 6 A Funny Picture from the Edo period ～ Lesson 10 Pigs from across the Sea	英語で好きな絵について話そう ～ 海外の文化や社会の理解を深める活動について英語で話そう

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

### ◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

#### (1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

#### (2) ノートの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

#### (3) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

#### (4) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

### ◇ 担当者からのメッセージ ◇

中学校で学習したことは、高校でも何度も何度も繰り返し登場します。まずは中学校の復習から始めますので、英語があまり得意でない人も不安に思う必要はありません。英語を勉強するというよりも、「英語を使って何ができるようになるか」を意識して、積極的に授業に取り組みましょう。ペーパーテストだけでなく、定期的にパフォーマンステスト(音読・会話・発表など)も行います。授業中に練習する時間を大切にしましょう。

全商英検3級にも挑戦します。検定に合格して、自信をつけましょう。

家庭基礎

教科	家庭	単位数	2	学科・学年	ビジネス科・1年
使用教科書	家庭基礎 気づく力 築く未来 (実教出版)				
副教材等	2023 生活学 Navi				

◇ 科目の目標 ◇

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて理論的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。
- (3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	
	第1章 これからの人生について考えてみよう	・ これからの人生をデザインする
	第2章 自分らしい生き方と家族	・ ライフキャリア
後期	第6章 食生活をつくる	・ 私たちの食生活 ・ 食品の選び方と安全
	第7章 衣生活をつくる	・ 人と衣服のかかわり
	第3章 子どもとかかわる	・ 子どもの発達と生活
	第8章 住生活をつくる	・ 人間と住まい
	第4章 高齢者とかかわる	・ 高齢社会に生きる
	第5章 社会とかかわる	・ 共生社会を生きる
	第9章 消費行動を考える	・ 消費生活の現状と課題
	第10章 経済的に自立する	・ 暮らしと経済

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】の項目を評価する。

(2) ノートの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

(3) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

(4) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分が大きい。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

- ・ 家庭科では、生活するために必要な人やもの、ことがらについて学びます。これからの生活をより充実したものにするために、生活に関わる知識を増やし、技術を身に付けていきましょう。
- ・ 自立した生活が営めるよう、主体的に学習に取り組みましょう。

## ビジネス基礎

教科	商業	単位数	2	学科・学年	ビジネス科・1年
使用教科書	ビジネス基礎（実教出版）				
副教材等	ビジネス基礎 準拠問題集（実教出版）				

### ◇ 科目の目標 ◇

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動をおこなうなどを通して、ビジネスで地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を次のとおりに育成することを目指します。

- (1) ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けます。
- (2) ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養います。
- (3) ビジネスを適切に発展する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ共同的に取り組む態度を養います。

### ◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	第1章 商業の学習とビジネス	商業を学ぶ重要性と学び方、ビジネスの概要について理解します。 【前期中間考査】 ビジネスにおける信頼関係構築の意義と重要性を学びます。 【前期期末考査】
	第2章 ビジネスとコミュニケーション	
	第3章 経済と流通の基礎	
	第4章 さまざまなビジネス	
後期	第5章 企業活動の基礎	企業活動の形態と組織、マーケティングの重要性と流れなど企業活動に必要な知識を学びます。 【後期中間考査】 さまざまな地域の魅力と課題、地域ビジネスの動向について学びます。 【学年末考査】
	第6章 ビジネスと売買取引	
	第7章 ビジネス計算	
	第8章 身近な地域のビジネス	

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

### ◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

#### (1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

#### (2) ノートの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

#### (3) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

#### (4) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

### ◇ 担当者からのメッセージ ◇

「ビジネス基礎」はすべての商業科目の基礎となる大切な科目です。ビジネスをはじめとして様々な知識、技術を活用し、ビジネスに関する課題を発見するとともに、企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、市場の動向、ビジネスに関する理論、データ、成功事例や改善に要する根拠に基づいて学習していきます。

簿記

教科	商業	単位数	4	学科・学年	ビジネス科・1年
使用教科書	新簿記（実教出版）				
副教材等	完全段階式日商簿記検定問題集3級4訂版（実教）・日商簿記検定模擬試験問題集3級（実教）				

◇ 科目の目標 ◇

簿記に関する知識と技術を習得させ、その基本的な仕組みについて理解させるとともに、適正な会計処理を行う能力と態度を育てる。

- 1 取引の仕訳、勘定記入、決算など簿記に関する知識と技術を習得し、簿記の基本的な仕組みについて理解する。
- 2 適正な会計処理を行う能力と態度を育てる。
- 3 企業会計に関する基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、主体的かつ共同的に取り組む態度を養う。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容		
前期	第1章 簿記の基礎	<p>●簿記の意味、目的、種類、歴史、必要性、前提および簿記が企業の経営活動を会計帳簿に記録し、計算・表示するものであることについて理解します。</p> <p>●資産・負債・純資産の基本的な概念と貸借対照表の役割・構造、収益・費用の基本的な概念と損益計算書の役割・構造および当期純損益の計算方法について理解します。【前期中間考査】</p> <p>●取引の仕訳から勘定の記入を経て決算に至る簿記一巡の手続の基本的な流れについて理解します。【前期期末考査】</p>		
	第2章 資産・負債・純資産と貸借対照表			
	第3章 収益・費用と損益計算書			
	第4章 取引と勘定 第5章 仕訳と転記			
	第6章 仕訳帳と総勘定元帳			
	第7章 試算表 第8章 精算表			
	第9章 決算 第10章 現金・預金などの取引			
	第11章 商品売買の取引			
	第12章 掛けの取引			
	後期		第13章 手形の取引	<p>●個人企業における仕訳、総勘定元帳への転記、および各種帳簿への記入方法について学びます。【後期中間考査】</p> <p>●帳簿の締め切りの方法および勘定式の貸借対照表と損益計算書を作成する方法について理解し、資料をもとに財務諸表を作成する学習活動に取り組めます。</p> <p style="text-align: right;">【学年末考査】</p>
			第14章 その他の債権・債務の取引	
			第15章 固定資産の取引	
第16章 個人企業の資本の取引				
第17章 販売費と一般管理費、税金の取引				
第18章 決算整理 第19章 8桁精算表				
第20章 帳簿決算 第21章 会計帳簿				
第22章 伝票の利用				
第23章 会計ソフトウェアの活用				

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

(2) ノートやプリントへの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

(3) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

(4) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】に関する配分がもっとも大きい。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

「簿記」は商業の基礎となる大切な科目です。簿記の知識・技術を習得し、商業の見方、考え方を学び、財務諸表を通して、企業の基本活動の状況を見る視野を広げましょう。

日商簿記検定3級合格を目指します。主体的に、意欲的に勉学に励みましょう。

## 情報処理

教科	商業	単位数	4	学科・学年	ビジネス科・1年
使用教科書	情報処理（実教出版）				
副教材等	全商情報処検定模擬問題集3級（実教出版）・全商ビジネス文書実務検定模擬問題集2級				

### ◇ 科目の目標 ◇

- (1) 企業における情報の管理と活用に関する具体的な事例について多面的・多角的に分析し、考察や討論を行う学習活動を通して、情報を扱う者としての役割と責任について理解を深めます。
- (2) 情報技術の進歩を踏まえ、実社会において情報を扱う具体的な場面を想定した実習を行う中で、情報を適切に扱うことができる力を身に付けます。

### ◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	1 企業活動と情報処理	・ビジネス活動における情報の役割と情報活用の重要性を学びます。
	2 コンピュータシステムと情報通信ネットワーク	・情報通信ネットワークの概要とビジネスにおけるインターネットの様々な利用方法やその効果について学びます。
	3 情報の集計と分析（1）	・表計算ソフトウェアの活用方法を学習し、基本的な操作や関数の利用について学びます。
後期	4 ビジネス文書の作成	・表計算ソフトウェアのグラフ作成機能を学習し、目的に応じたわかりやすいグラフの作成方法を身に付けます。
	5 プレゼンテーション	・ワープロソフトウェアを利用し、ビジネス文書の役割や分類、基本的な構成要素、正確でわかりやすい文章の表現方法について学習します。 ・プレゼンテーションを行う際の構成や話し方を理解し、ソフトウェアを活用して効果的なプレゼンテーションを行うための技法を身に付けます。

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

### ◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別（【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】）に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

#### (1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

#### (2) ノートの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

#### (3) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

#### (4) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

### ◇ 担当者からのメッセージ ◇

インターネット通販の際にクレジットカード決済で買い物をしたり、電車の運行情報が駅の掲示板に表示されているのを目にしたのが当たり前になりました。暮らしのあらゆる場面でIT（Information technology）を活用したシステムが使われる時代になっています。情報処理では私たちの生活や実際のビジネスに関する諸活動を想定しながら、コンピュータを利用し、その仕組みや利用について基礎から学び、あらゆる場面で情報を活用できる力を身に付ける学習を行っていきます。